

第 113 回 浅間嶺ハイキング

第五支部 東邦化成株式会社

高橋 朗

2023 年 10 月 6 日 (日) 小雨

今回は東京都の西部、檜原村にある浅間嶺 (903m) に向かいます。ルートは浅間尾根登山口バス停から数馬分岐、人里 (へんぼり) 分岐を経て、浅間嶺。時坂 (とっさか) 峠を抜けて払沢 (ほっさわ) の滝を見学して、払沢の滝バス停へ戻ります。全行程4時間15分程です。

五日市線武蔵五日駅に8時40分集合。参加者は少なく、大井さん、石井さん、高橋の3名でした。駅に到着すると、バス停には長蛇の列が……。座れるか心配なほどの混雑ぶりでしたが、別路線のバスに分散した為、座る事ができました。臨時便のアナウンスが出るほどの盛況でした。

武蔵五日市駅より50分程揺られ、9時50分に浅間尾根登山口バス停に到着。そこから10分ほど歩いた所に登山口があり、10時00分、霧雨の中のスタートです。

直登ルートできつい斜面を進んでいきます。最初は舗装された道でしたが、少し進めば山道に入り、滑りやすい泥濘道、岩場を慎重に進んでいきます。途中開けた所に出ますと、靄がかかっており、眺望を見渡すことはできませんでした。かえって幻想的な風景が広がります。

10時45分、尾根道に到着。ようやく登りもひと段落し、なだらかな尾根道を息を整えながら進んで行きます。10時50分、猿石に到着。ここで小休止。看板の文字は綺麗に消えてしまっており、何が書いているかわかりませんでした。立派な大岩で何が猿なのかを見ておりましたが解らず、石の上の方が猿の顔っぽいという結論に。下山して調べました所、消える前の看板には「サルの手形がついた大きな石、手のカタチはよく探せばわかるよ!」と書いてあるとのことでした。残念、不正解。

11時17分、数馬分岐。11時44分、人里分岐。12時01分、浅間嶺頂上到着。控えめな頂上で頂上の標識も小さく見過ごしてしまうほどです (周りも木に囲まれており眺望も何もないというような感じです)。一度通り過ぎてしまうというハプニングがありましたが、丁度2時間で頂上に到着できました。通常は頂上で大休止ですが、まだ雨は止みません。すぐ近くに休憩所があるようなので、そちらで大休止を取るべく頂上隣にある富士浅間大神でこの先の安全を祈念し、休憩所を目指します。

12時14分、休憩所に到着。屋根があるので雨を凌ぎながらようやく休憩できます。休憩所には先客も多く、20人位は居たでしょうか。椅子は全て埋まっております。隅っこで邪魔にならないように敷物を敷いて3人並んで石井さんから頂戴しま

した本麒麟ロング缶で乾杯。最高です。石井さんごちそうさまでした。混雑している事もあり、簡単に食事をすませ下山する事になりました。

12時40分、下山開始。休憩所を出てすぐに頂上より偉そうな浅間嶺の標識（頂上ではない）があり撮影。ほろ酔いで下山していると、山の急斜面沿いの細い道にでます。そこには木々など遮るものが何もなく、靄がかつた素晴らしい景色が広がります（足元見ると高さを感じてしまう為ゾクゾクしてしまいますが）。快晴だったら更に眺望も素晴らしいかっただけでしょう。次回の楽しみにします。

雨は止まず、下りも泥濘道・岩場、足元の怖さを味わいながら、怪我しないようにと気を付けながら降りておりました。その中を石井さんは颯爽と進まれているのを見て、経験の違いを痛感しました。

危険な下りもひと段落した頃に、ようやく雨もあがり始め、日が差して来ました。13時51分、時坂峠に到着。ゴールまであと僅かです。14時30分、払沢の滝に到着。高度差60mもあるので迫力満点の滝です。見事な滝の景観と音に癒され、疲れも吹き飛びます。そして14時46分ゴールの払沢の滝バス停に到着。皆様お疲れ様でした。

今回のハイキングは距離12.7km、所要時間4時間56分（休憩含む）でした。

ハイキングの後は楽しみな打ち上げです。立川駅に戻り若林さんと合流。今回の会場は、若林さんに予約して頂きました「焼売のジョー」です。

店に着くなり乾杯。肉焼売、海鮮焼売、炊き焼売（スープに焼売が入っている）、揚げ焼売など豊富な種類の焼売を美味しく頂きながら、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

次回のハイキングもどうぞ宜しくお願い致します。